

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	都市整備課
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	4.子育て世代の定住促進
分野別方針	(3)住まいの確保・住環境の整備・誘導
実施計画事業	1)定住促進住宅支援事業(No.32)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	住宅リフォーム助成事業	98.0%	B
02	地籍調査事業	97.0%	A
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	定住促進対策としての住民周知等が大きな課題。 具体的には、助成事業の利用者拡大及び地籍調査事業に対する土地所有者への理解度の向上。
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	定住促進に繋がる基礎的な支援制度として、これまで以上に事業を推進させる必要がある。 また、助成制度はより使い勝手の良い制度として、助成システムを見直すことについても検討をする等、改善の余地がある。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	定住促進に繋がる基礎的な支援制度として、これまで以上に事業を推進させる必要がある。 また、助成制度はより使い勝手の良い制度として、助成システムを見直すことについても検討をする等、改善の余地がある。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	定住促進を着実に推進するために、各種の定住促進策を集中的に展開する必要がある ので、事業実績や社会情勢等を見定めながら、適宜見直しを行っていく。		